

第12回エデュカーレ in たかはし

戸籍女子 父ちゃんになる！

～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～

報 告 書

開催日時：平成29年7月30日(日) 13時30分～16時30分

会 場：高梁まち・ひと・くらし市民交流センター（ポルカ2階）

主 催：エデュカーレ in たかはし実行委員会

協 力：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室

1. はじめに

エデュカーレ in たかはしは、私たち学生が地域の皆様と関わらせていただくことにより、学生が実践的な課題解決能力を身に付け、社会に貢献できる人材となることを目的として開催させて頂くものです。

第12回エデュカーレ in たかはしは、「性同一性障害の理解」を題材として開催することにしました。女性の体、戸籍女子という、自分の意思とは違うところで決定される「枠組み」のなかでもがいてこられた臼井さんをお招きし、臼井さん自身がどのようにして性同一性障がいに向き合ってきたのか、その苦悩と葛藤などについて話していただきました。また、ワークショップでは、性同一性障がい者への理解、自分自身をありのままに受け入れ幸せに生きる方法などについて参加者同士で語り合いました。

2. 実施内容（プログラム）

1. オープニング

- 1) 実行委員長あいさつ
- 2) プログラムの説明
- 3) グランドルールの説明

2. アイスブレイク

- 1) グループ分け
 - ・ラインナップ（起床時間）
- 2) アイスブレイク
 - ①チェックイン自己紹介
 - ②LGBTの簡単な説明
 - ③LGBTクイズ

3. 講話

- 1) 講師紹介
- 2) 講話

テーマ：戸籍女子 父ちゃんになる！

～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～

講師：臼井 崇来人（ウスイ タカキート）

4. 休憩

5. ワークショップ

- 1) グランドルールの説明
- 2) フリップボードディスカッション

グループ内での話し合いは前半4分、臼井さんのお話し2分、後半6分で行った。

テーマ①：身体の性と心の性が違うことをどう理解しますか？

テーマ②：性別変更するために手術が必要なことをどう思いますか？

テーマ③：同性に好意を寄せたことがありますか？

同性から好意を寄せられたと感じたことがありますか？

同性同士が好意を寄せ合うことについてどう思いますか？

3) ワークショップ (エンタ君を使ったワークショップ)

- ・「LGBT などの性的少数者 (マイノリティー) の人たちが差別されない (生きやすい) 社会はどのような社会だと思いますか?」です。

6. アンカリング

- ・感想の共有

7. エンディング

1) 臼井さんのコメント

2) アンケート記入

8. 閉会挨拶

- ・閉会挨拶

3. アンケートのまとめ

1) 参加者

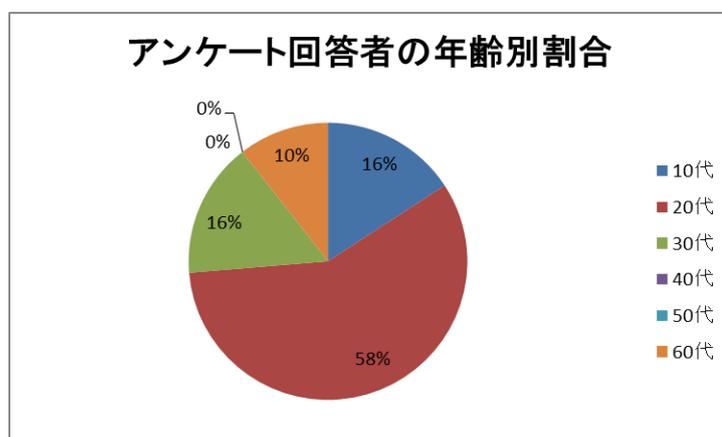
参加者は 26 名であった。

2) アンケート回答者の年齢・性別・居住地

アンケート回答者は 19 名であった。アンケートの結果を以下に示す。アンケート回答者の年齢は 20 代が中心であった。また、高梁市外在住の人の方が多かった。

年齢	人数
10代	3
20代	11
30代	3
40代	0
50代	0
60代	2

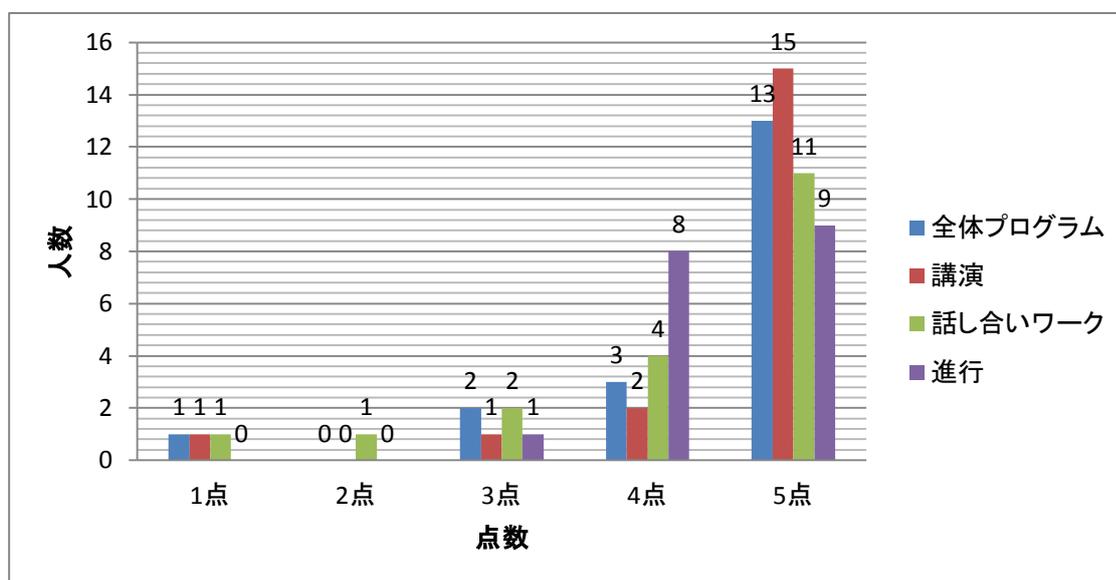
居住地	人数
高梁市内	11
高梁市外	8



3) フォーラムの評価

フォーラムの評価としては、講演については高い評価であったが、全体プログラムや話し合いワークの評価が低かった。話し合いワークの焦点が絞り切れていなかったことが原因であると思われる。

	1点	2点	3点	4点	5点
全体プログラム	1	0	2	3	13
講演	1	0	1	2	15
話し合いワーク	1	1	2	4	11
進行	0	0	1	8	9



4) アンケート記載事項のまとめ

①良かった点

- ・いつもと違うワークでおもしろかった。
- ・進行がよい
- ・スムーズ
- ・進行が良かった。
- ・自分のためになった内容だった
- ・珍しいテーマでいろんなことを考えるきっかけになった。
- ・共通っていうところ
- ・理解してもらうことが難しいんじゃないけどそれでもがんばってやっていくこと
- ・臼井さんと仲良くなれたかもしれない。
- ・しっかり考えようとする学生に会えたこと。
- ・全体のファシリテーターがいいです
- ・話題がおもしろいです

- ・話しやすい場ができていた。
- ・内容的に日常でありふれたことがなかったので良かった。
- ・学生が積極的
- ・LGBTについて深く知れた
- ・雰囲気がいい
- ・皆、これからどうすべきがきちんと考えられた。
- ・時間がおしてない
- ・笑顔
- ・LGBTについて知れたこと
- ・新しいものの見方を発見することができた
- ・LGBTについて、改めて考える事ができたこと。
- ・初対面の方々と真剣に話し合いができたこと。
- ・白井さんの話が聴けたこと。
- ・知らない事を知ることができた。
- ・時間のコントロールはよかった。
- ・会場の準備は速かった
- ・司会の雰囲気が明るくて良かった

②悪かった点・改善点

- ・できれば2.・3年がどのグループにも分かれるようにしてほしい。
- ・内容が難しかった
- ・ワークショップの話し合いで前半、後半分けない方がよかった
- ・電気とか温度調整を先生がしていた。
- ・休憩が少し短かった
- ・外部の人が少なかった。
- ・高梁の多くの人が参加して欲しい。
- ・休憩時間がちょっと短いです。
- ・みんなはもっと情熱をもったほうがいいです。
- ・ワークテーマがむずかしい。
- ・グループワークの人数が多い
- ・ワークショップのテーマ
- ・たいくつそうな人がいた
- ・ワークショップの議題が難しかった
- ・後半が長い
- ・話が長かった。
- ・スライドを使った説明をしてほしい。
- ・お菓子の種類が少ない
- ・少しワークショップの内容が難しかった

③感想

- ・楽しい時間でした。
- ・今までと考え方が変わった。自分にとっていい講義だった。
- ・LGBTについて前よりも理解した
- ・ふだんあんまり関心を持たなかったLGBTについて深く考えるきっかけになった。
- ・LGBTがもっとふつうになる社会をつくる手伝いをしたい。
- ・学生が何を目的にしているのかあまり感じれない。ただワークをこなしているだけ。
- ・LGBT当人の方の話を聞くことが出来たので今までとは違った見方ができた。
- ・エデュカーレ前、LGBTはあまり考えた事がなかったが、昔、まわりにLGBTの人がいたのを思い出した。今日LGBTについて聞いて、LGBTがよく理解できた。
- ・LGBTについて知らないことが多かった。LGBTの方の悩みを自分達が理解してマイノリティを無くす事が大切。
- ・楽しく学べてよかったです
- ・正直、LGBTにはあまり興味がなかったけど、今日の講話を聞いて、臼井さんのくろうを知れてLGBTの人の気持ちを知ろうと思った。とてもいい講話でした。
- ・正直自分には全く関係のない話だと思っていたが性別でしか言えることではなくて色々なものの見方を正そうと思える素晴らしい講演会だった。日本の理不尽な固定概念を自分達で変えていきたい
- ・性の問題は「生」の問題。だと思う
- ・人それぞれ共通点が違って良いと思った。
- ・臼井さんの議会を聞いた後、LGBTのことをもっと分かった。
- ・LGBTについて知れて、参加する前より理解できたと思います。

5. おわりに

第12回エデュカーレ in たかはしは、「戸籍女子 父ちゃんになる!～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～」を題材として開催しました。

「LGBT」という普段私たちがあまり考えることのなかったであろう難しいテーマであったが、講師の臼井さんの実体験をもとにしたお話や、「LGBT」についての具体的な考えを伺うことで、私達も1人1人それぞれの意見を持つことができ、とても有意義な時間となりました。そして、私たちは今回学んだことを活かし、これからLGBTの方の立場に立って、同じ目線で、マイノリティ差別の排除に尽力していきたいと思えます。

これからも活発な意見交換の場を作っていきたいと思っておりますのでこれからもどうぞエデュカーレ in たかはしをよろしくお願ひします。

実行委員長	中村 洸太
副実行委員長	森本 明日香
	藍 紫

6. 付録

1) シナリオ、LGBTの説明、クイズ

第12回 エデュカーレ in たかはし

戸籍女子 父ちゃんになる!

～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～

臼井 崇来人 (ウスイ タカキート) さん

本日のプログラム

1. オープニング (10分)
2. アイスブレイク (20分)
3. 講話 (45分)
4. 休憩 (15分)
5. ワークショップ (70分)
6. アンカリング (10分)
7. エンディング (10分)
8. 閉会

名前	住んでいるところ
好きな場所	好きな食べ物

LGBTの説明

Lesbian : 女性同性愛者

L (レズビアン) → 

- ▶ 体のせいは-----女性
- ▶ 心のせいは-----女性
- ▶ 好きになる性は-----女性

Gay : 男性同性愛者

G (ゲイ)



- ▶ 体のせいは-----男性
- ▶ 心のせいは-----男性
- ▶ 好きになる性は-----男性

BISEXUAL (バイセクシュアル)

好きになる性が異性の場合も同性の場合もある人。

異性も同性も好きになる人と理解されていますが、「好きになる相手の性別は問わない」という意味。

Transgender (トランスジェンダー)

トランスジェンダーは心と体の性が一致していない感覚を持っている人です。

自分で服装や話し方、態度などを心の性と合わせるにより自分の持つ性別違和感を軽減、解消する人もいます。

性別適合手術を行い体と心の性を一致させる手術もありますが望む人、望まない人がいます。

M t F (Male to Female)

▶ 〈体の性〉が男性で、〈心の性〉が女性の人です



F t M (Female to Male)

▶ 〈体の性〉が女性で、〈心の性〉男性の人です



性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律

戸籍上の性別の変更を認める特例法は、平成15年に成立、16年7月16日に施行
性別変更の審判を申し出るにあたり医師の診断書を提出し、特例法3条1項1号から5号の要件をみたさなければならない

特例法 1号～5号

- 1号 20歳以上であること
- 2号 現に婚姻をしていないこと
- 3号 現に未成年の子がいないこと
- 4号 生殖腺がないこと又は生殖腺の機能を永続的に欠く状態にあること
- 5号 その身体について他の性別に係る身体の性器に関わる部分に近似する外見を備えていること

特例法の問題点

・手術なしでは性別変更が認められない
「費用が高額である」、「身体的負担が大きい」、
「将来的に子をつくれるように生殖機能は残したい」、「手術を受けても希望する身体にはなれない」などの理由があり、受けられない人や受けることを望まない人もいます。

LGBTクイズ

第1問

同性婚を認めている国の
数はどのくらい？

第2問

世界におけるLGBTの
人の割合は何%？

第3問

日本におけるLGBTの
人の割合は何%？

第4問

日本のレズビアンの人数

第5問

日本のゲイの人数

付録の問①

女性の身体で心は女性の人
女性の身体で心は男性の人

二人が愛し合ったとき
二人の関係は？

付録の問②

女性の身体で心は女性の人
男性の身体で心は女性の人

二人が愛し合ったとき
二人の関係は？

講 話

戸籍女子 父ちゃんになる！

～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～

白井 崇来人（ウスイ タカキート）さん

休 憩

ワークショップ

本日のグラドルール

- ★ 発言は要点を絞ってコンパクトに
- ★ メンバーの話をよく聴きましょう
- ★ 批判や否定はいけません
- ★ 笑顔と笑いが大切です
- ★ 20cmのうなずきで会話が弾みます

フリックボード・ディスカッション①

身体の性と心の性が
違うことを
どう理解しますか？

フリックボード・ディスカッション②

性別変更するために
手術が必要なことを
どう思いますか？

フリックボード・ディスカッション③

- ★ 同性に好意を寄せたことがありますか？
- ★ 同性から好意を寄せられたと感じたことがありますか
Yes・No でお答えください

- ★ 同性同士が好意を寄せ合うことについて
どう思いますか？

レスビアン、ゲイに限定せずに男同士、女同士の友達
関係も含めて考えてください。

ワークショップ

LGBTなどの性的少数者（マイノリティー）の人たちが差別されない（生きやすい）社会はどのような社会だと思えますか？



LGBTなどの性的少数者（マイノリティー）
の人たちが差別されない（生きやすい）
社会はどのような社会だと思いますか？



アンカリング

エンディング

**ご参加
ありがとうございました**

2) スター・チラシ

第12回 エデュカーレ in たかはし

戸籍女子 父ちゃんになる！

～自分自身を受け入れ、幸せに生きる方法～

女性の体、戸籍女子という、自分の意志とは違うところで決定される「枠組み」のなかでもがいてきた臼井さんは40歳を機に性同一性障がいであることをカミングアウトした。自分の気持ちをごまかさず、きちんと人生と向き合うと決めたからだ。現在は、パートナーの山本幸さんと「決婚し“夫婦”として生活しているが、二人は戸籍上女性同士のため、結婚はできない。

講話では、臼井さん自身がどのようにして性同一性障がいに向き合ってきたのか、その苦悩と葛藤などについて話していただく。また、ワークショップでは性同一性障がいへの理解、自分自身をありのままに受け入れ幸せに生きる方法などについて参加者同士で語り合います。

日 時:平成29年7月30日(日) 13時30分～16時30分
(13時00分受け付け開始)

会 場:高梁まち・ひと・くらし市民交流センター(ポルカ2階)

〒716-0045 岡山県高梁市ポルカ通り1084-1

内 容:講話とワークショップ

講 師:臼井 崇来人(ウスイ タカキート)

定 員:40名

**申込み:下記問い合わせ先にメールかFAXで
お願いします。当日参加も可能です。**

参加費無料



主 催:エデュカーレ in たかはし実行委員会
後 援:高梁市教育委員会

問い合わせ先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町8
吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科
井勝(いかつ)研究室
TEL/FAX:0866-22-9223
E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp

3) アンケート用紙

第12回 エデュカーレ in たかはし

アンケート

年 齢： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80以上

性 別： 男性 ・ 女性

居住地： 高梁市内 ・ 高梁市外

全体プログラム： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった

講 話： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった

ワークショップ： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった

進 行： 悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった

本日のフォーラムの良かった点をご記入下さい

1. _____

2. _____

3. _____

本日のフォーラムの悪かった点、改善点を教えて下さい。

1. _____

2. _____

3. _____

感想をご記入下さい。

ありがとうございました

4) 写真

① 実行委員長挨拶（中村）／総合ファシリテーター（藍）



② グループ分け（起床順）とチェックイン（自己紹介）



③ LGBTの説明とアイスブレイク（LGBTクイズ）



④白井さんの講話



⑤フリップボードディスカッション



⑥ディスカッションの途中で白井さんにお話いただき、再度ディスカッションをしました



⑧ フリップボードディスカッション



⑨ ワークショップ



⑩ ワークショップの発表



⑪ アンカリングとエンディング



⑫ 閉会の挨拶（森本）と参加者の記念写真



実行委員名簿

◇実行委員長

中村 洸太 (社会科学部 経営社会学科 3年)

◇副実行委員長

森本 明日香 (社会科学部 経営社会学科 2年)

藍 紫 (南台科技大学 交換留学生)

◇実行委員

栢原 かなえ (社会科学部 経営社会学科 3年)

井上 健太郎 (社会科学部 経営社会学科 3年)

平田 和也 (社会科学部 経営社会学科 2年)

岡室 俊輝 (社会科学部 経営社会学科 2年)

村上 峻一郎 (社会科学部 経営社会学科 2年)

ソ ヨンス (社会科学部 経営社会学科 2年)

チェ ホンミン (社会科学部 経営社会学科 2年)

林 穂琪 (南台科技大学 交換留学生)

連絡先

〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町 8

吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科

井勝 (いかつ) 研究室

TEL/FAX:0866-22-9223

E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp